

---

**ISED-D2**

**八田さんの講演を聞いて**

**井庭 崇**

**iba@sfc.keio.ac.jp**

*Takashi Iba @ISED-D2 (2005)*

# オープンソースの決定的に重要な点

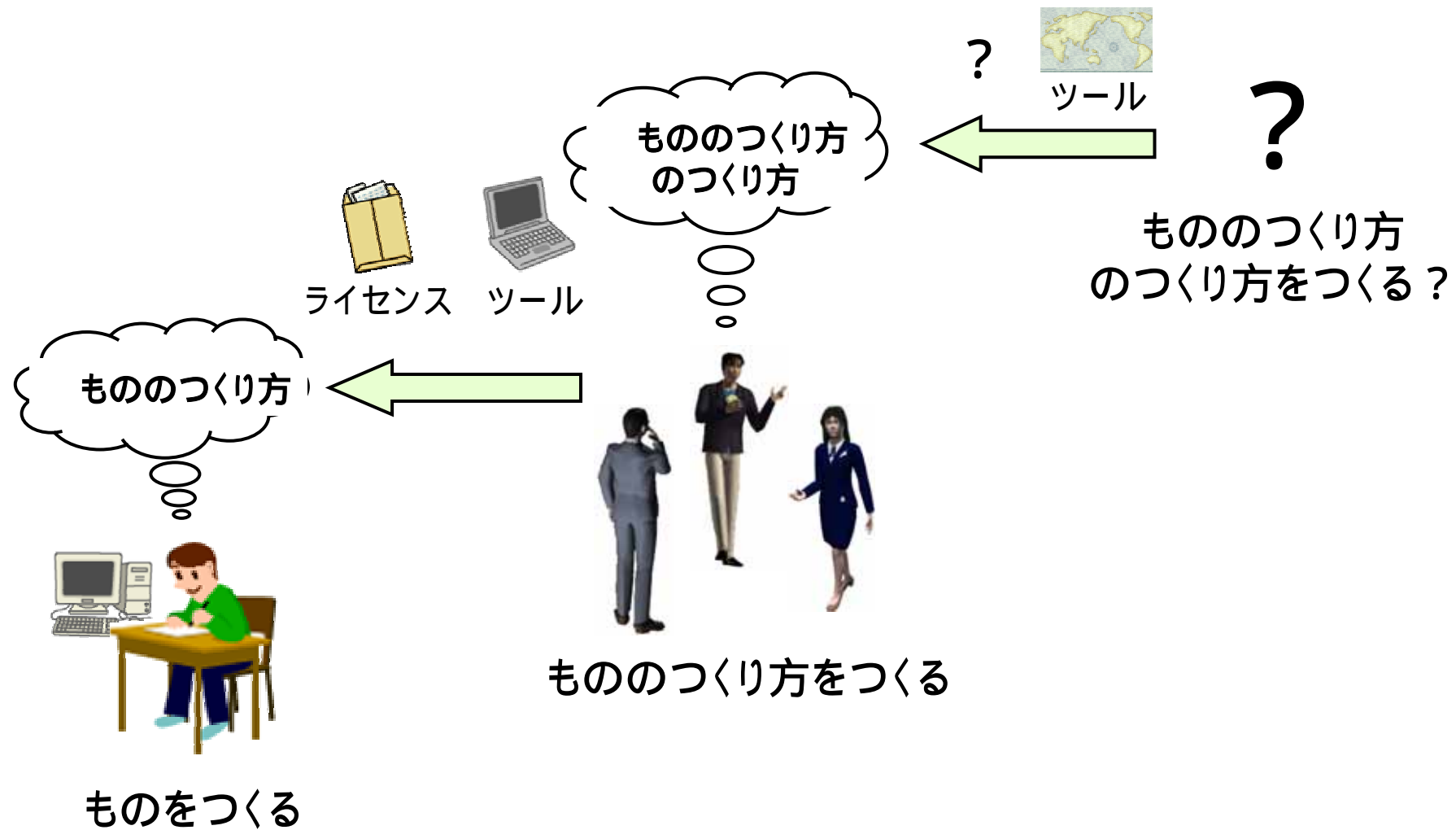
- 決定的に重要な点は、生産がオープン化したということ。
- 社会における消費と生産(経済的な意味だけでなく)
- 消費は階層・組織から解放され、オープンになってきた。
- では、生産はどうか？
- やはり一部の人がつくる、という構図が続いてきた。
  
- この状況において、オープンソースでは、生産が社会にオープン化した。
- これは、消費者を企業の商品開発に巻き込んで参加させるというのとは違う。
  
- つまり「プロシューマー」的。
- 新しい可能性が広がっている。

## つくり手の支援

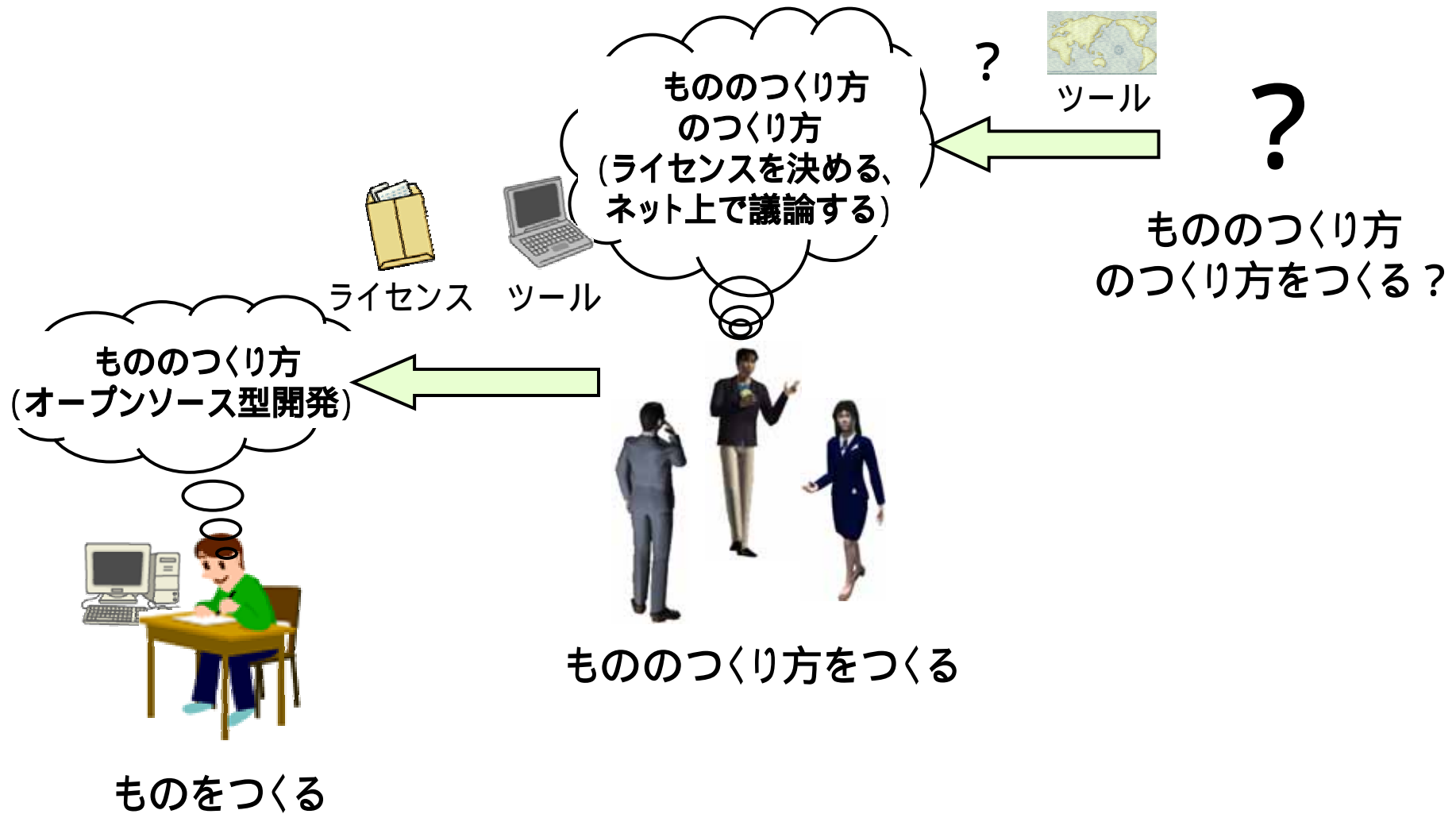
---

- つくり手を支援するパターン、コーディング・パターン、デザイン・パターン
- ノウハウの記述・共有
  
- (cf) クリストファー・アレグザンダー。ユーザー参加型の建築。
  - 住む人が自分たちの家や街をつくれるようにノウハウを記述しよう。
  - 初心者が熟練者のノウハウを知ることができ、また、
  - 作り手同士のコミュニケーションの語彙になる。

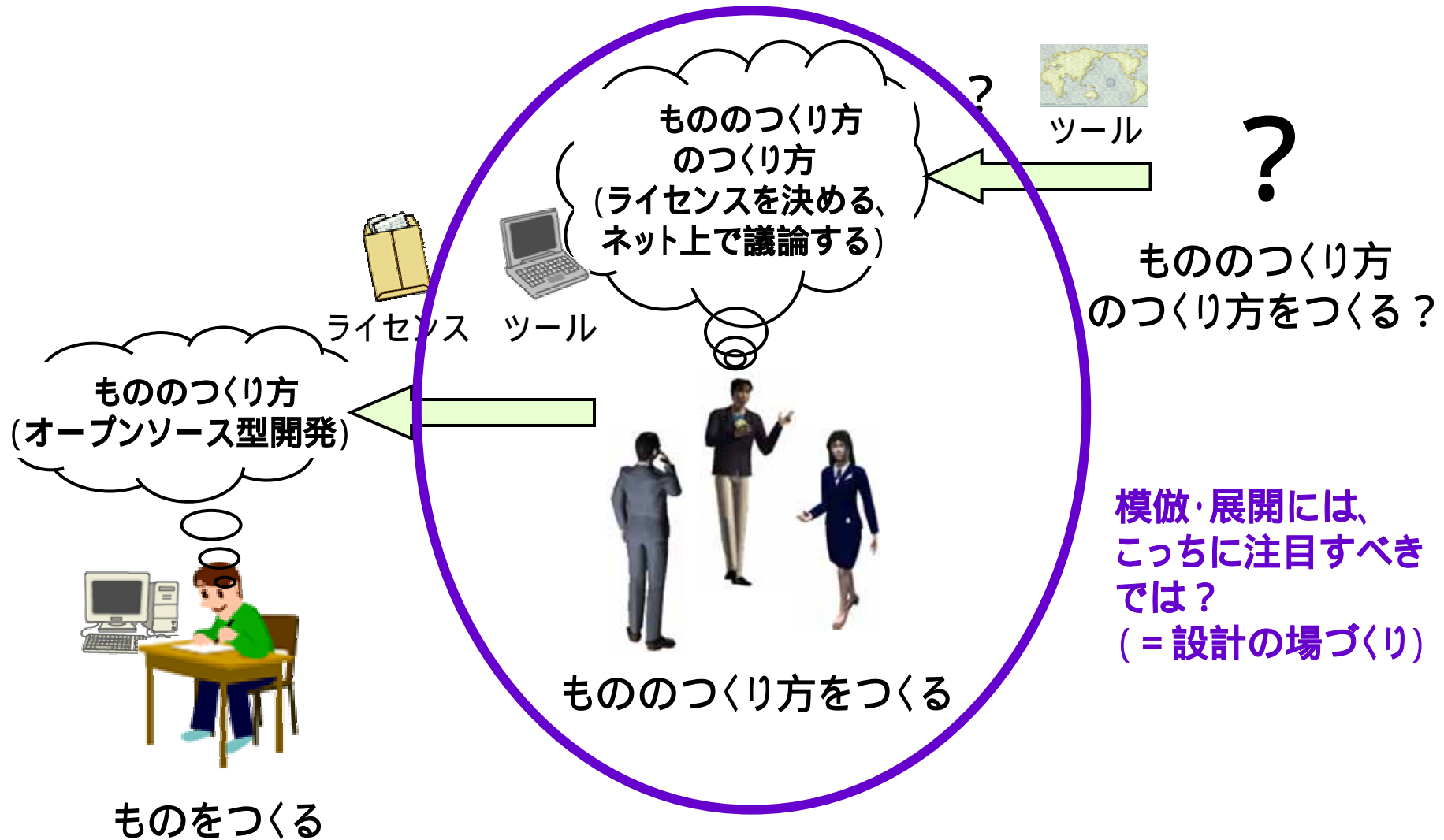
# ものをつくる、そのつくり方、そのつくり方...



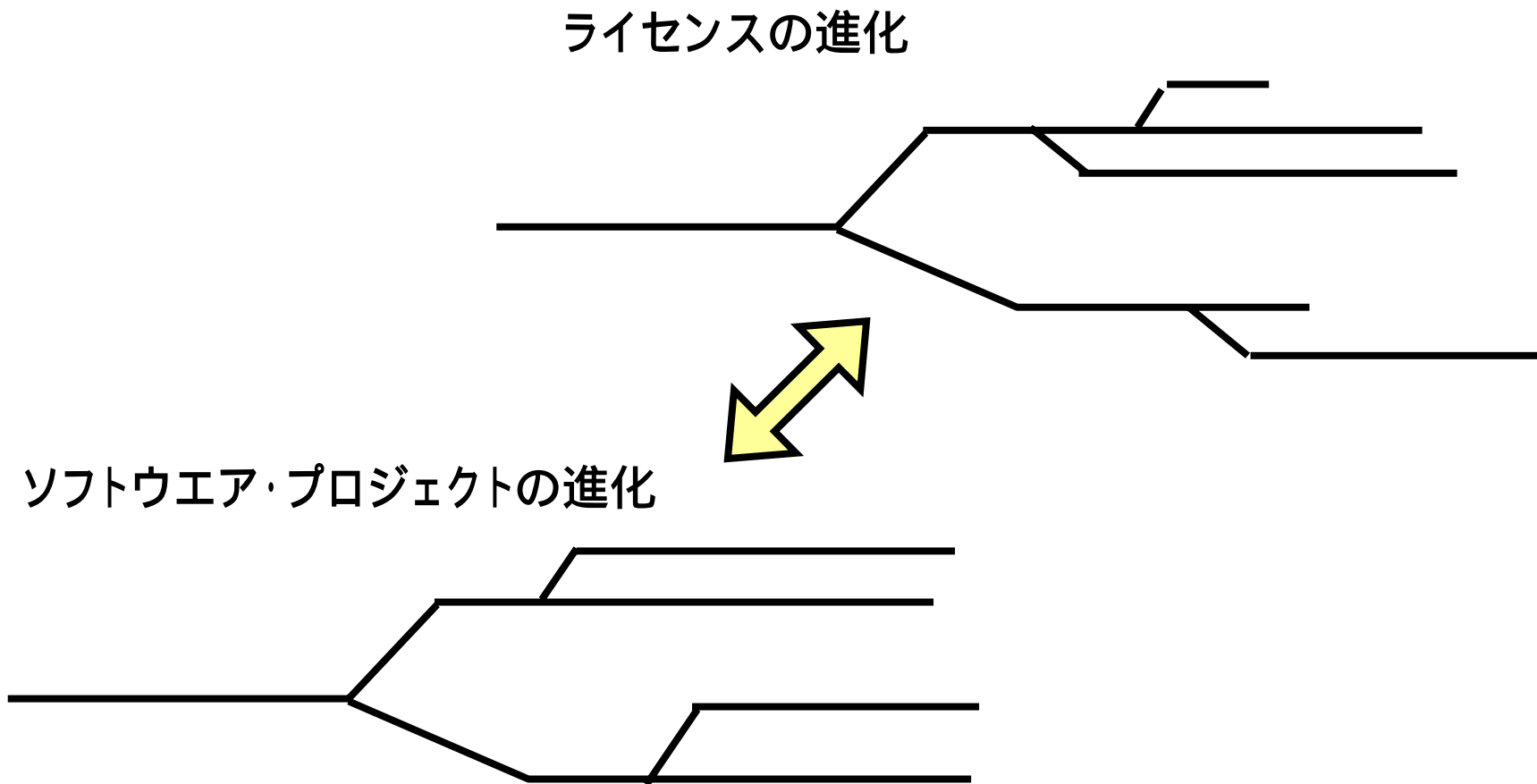
# オープンソース的につくる、そのつくり方をつくる...



# オープンソース的につくる、そのつくり方をつくる…



# 二重の進化



# オートポイエティック？

---

- ソフトウェア開発の連鎖
- オートポイエーシスとしてのオープンソース開発？
- つり手が、つくるためのパターン・ランゲージ